

第 4 回 習志野市新庁舎建設工事技術審査委員会 議事要旨

<p>【日 時】平成 26 年 10 月 21 日（火）14：30～17：00</p> <p>【場 所】仮庁舎 3 階大会議室</p> <p>【出席委員】伊藤清委員、倉斗綾子委員、桜田由香里委員、廣田直行委員、柳澤要委員、西村徹委員 以上 6 名(名簿順)</p> <p>【欠 席 者】なし</p> <p>【事務局など】習志野市新庁舎建設本部：吉川清志本部長、井手潤一副本部長、江口浩雄主幹、 鈴口榮二主任主事、橘俊博主事、笹森洋輔主任技師 アドバイザー業務委託事業者：(株式会社三菱総合研究所)大熊修司、長岡宏樹 ：(日本管財株式会社)山本雅也 ：(株式会社佐藤総合計画)渡辺猛、龍神勇佑</p>

発言者	意見・決定項目等
	<p>1. 議事</p>
委員長	<p>(1) 技術提案書の最終審査について</p> <p>本日の流れについて事務局より説明いただきたい。</p> <p>事務局が、当日追加資料①に基づいて説明。主に以下の留意事項について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の委員会資料のうち、最終審査結果については、事務局にて回収する。
委員長	<p>さらに事務局より委員会にて諮る事項について説明いただきたい。</p>
事務局	<p>第 3 回委員会では講評の議論をしたうえで委員会終了後に企業名をオープンにすることで合意していたが、開札結果において企業名がオープンになってしまうため、その時点で公開としたい。</p>
委員長	<p>ご意見はあるか。デメリットとしては、講評を作成する際に企業名がわかっていることで順位が僅差の企業への講評で、何かしら影響が出てしまうことが危惧される。一方で、そもそも結果自体は変わらないので、問題ないのではということも言える。</p>
委 員	<p>開札結果が出る前に、講評をできるだけ固めるという方向ではいかがか。</p>
委 員	<p>同意する。</p>
委員長	<p>ではご意見の通り、開札までの間に審査講評に関する意見交換を行うことで進めたい。</p>

<p>委員長</p>	<p>ア. 応募者からの回答に関する確認</p> <p>応募者からの回答に関する確認として事務局より説明をいただきたい。</p> <p>(事務局から、資料2に基づき説明した。各社へ原則、「可」または、「不可」のどちらかで答える質問をしており、概ね、各社からは、懸念された事項について対応できるとの回答をもらっているが、一部の事業者において、「可」・「不可」以外の回答がありその内容を説明した。)</p>
<p>委員長</p>	<p>支持層について、柱状図の見方によるところもあるが、事務局としては、要求水準を満たすものではなく、結果 VE 提案でも認められないものであるという認識であることを説明いただいた。ご意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>支持層の考え方としては、N値50が5m以上とされていて、中間層の厚さが2～3mしか無いため、提案内容は十分でない判断される。</p>
<p>委員長</p>	<p>その他いかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>確認したいが、VE 提案として認められないものという評価内容は、委員会の審査結果として出てこないがどのように取り扱うことになるのか。</p>
<p>委員長</p>	<p>VE 提案そのものの適否ではなく、委員会の議論を経て、当該提案内容が要求水準に対して十分でないという意見が出たことを参考に各委員が採点をするというのでよい。</p>
<p>委員</p>	<p>工程管理に関する回答で「可能」とあるが、結局工程表通りという回答であり、現実的でないと評価せざるを得ない。</p>
<p>委員</p>	<p>確認だが、工程管理自体は整合していないものの、VE 提案での工法の変更は期間短縮に資するものであるからその部分は評価対象にするということで、全体を見て評価するという認識でよいか。</p> <p>また、もし仮に是正を求める必要がある企業が選定された場合には、提案内容について是正を求めることを市に意見するというのでよいか。</p>
<p>委員長</p>	<p>そのような認識でよい。是正を求める必要がある企業が落札者となる場合は、意見書の中で、委員会より指摘することとしたい。</p> <p>その他回答に関するご意見がなければ、最終審査に移りたい。各委員は、席上に配布されたご自身の審査資料の審査結果を確認し、変更があれば赤入れをして、終了次第事務局に提出いただきたい。事務局は提出された審査結果をもとに集計作業をすること。</p>

	<p>(各委員は最終審査作業を実施し、審査結果を事務局に提出した。その後事務局は集計作業を実施し、集計結果を発表した。)</p>
委員長	<p>事務局より技術提案評価点について集計結果を発表いただいた。数値を確認いただき、間違いがないか各自確認いただきたい。</p>
委員長	<p>各委員より問題なく集計がなされていたと確認された。結果、技術提案評価点は以下の通りとなった。</p> <p>受付記号 263943 は、52.28 点。 受付記号 431224 は、29.64 点。 受付記号 565511 は、50.47 点。 受付記号 874132 は、69.34 点。</p> <p>疑義はないか。特に疑義はないということから、この内容で技術提案評価点を確定する。次に、事務局にて実施した実績評価点の結果の確認をお願いしたい。 (事務局より実績評価点の結果を開示した。)</p>
委員長	<p>数値について確認をいただきたい。事務局にて補足すべき事項はあるか。</p> <p>(事務局が評価に大きく差が出た項目について、補足説明を行った。)</p>
委員長	<p>その他ご意見はあるか。特に疑義はないということから、委員会として、この実績評価点について承認することとしたい。</p> <p>結果、技術提案及び実績評価点は以下の通りとなった。</p> <p>受付記号 263943 は、72.28 点。 受付記号 431224 は、42.56 点。 受付記号 565511 は、65.05 点。 受付記号 874132 は、86.34 点。</p> <p>疑義はないか。特に疑義はないということから、この内容で技術提案評価及び実績評価点を確定する。</p> <p>事務局は本結果をもって速やかに意見書として取りまとめること。</p> <p>(事務局は意見書を作成し委員長の確認を得て、市契約検査課へ提出した。)</p>
委員長	<p>開札までの間に審査講評のための意見交換を行いたい。</p> <p>審査講評の作成の考え方については、今一度事務局より説明いただきたい。 (事務局より資料 3 に基づき審査講評の作成方法について説明。)</p>
委員長	<p>業務の大項目、全体、設計業務、施工業務ごとに、ご意見をいただきたい。B 評価以上</p>

	<p>をつけたところで、特に印象に残ったものを抽出いただければよい。まずは全体の項目についていかがか。</p>
委員	<p>受付記号 874132 はワーキングなどの開催により、コミュニケーションを積極的にはかろうとする意図がみられ、提案も具体的であり評価した。</p>
委員	<p>設計段階で什器配置検討部会、早めに総合図を作成することを評価した。全国ネットワークによる労務・資材の早期手配を行う点、工事を細分化して、多くの協力業者に発注させる工夫など受付記号 874132 を高く評価した。</p> <p>また、市内企業の施工状況を取引のない業者とも取引をする点も評価された。</p>
委員	<p>受付記号 263943 は、コミュニケーション方法や全体工程管理について、独自のノウハウを記載しており意欲的であると評価した。また地域経済市内企業との連携に関しても、踏み込んだ具体的な提案をしていたことから、効果が期待できるのではと評価した。</p> <p>受付記号 431224 は、標準的な内容が多かったが、モックアップは評価できる。</p> <p>受付記号 566551 は、コミュニケーション方法について、セキュリティを確保したクラウドサーバーなどイメージの共有を積極的に行う姿勢がみられ、評価した。</p>
委員	<p>受付記号 874132 は、竣工期日の 2 か月前倒しという魅力的な提案内容と、それを実現できる技術力を伴っていると判断できる具体的な提案がなされており、評価した。</p> <p>地域経済の貢献でも、数値で提案を掲げており具体的だと考え、評価している。</p>
委員	<p>受付記号 263943 と受付記号 874132 の評価が高かった。両者は、部会の設置や工程管理の細かさなど評価できた。受付記号 565511 は、前 2 社と同様の提案も見られたが、具体性や実現性の点で前 2 社よりも劣ると判断した。</p>
委員長	<p>受付記号 874132 の工期短縮の方法について具体性を高く評価した。受付記号 263943 や受付記号 874132 は人数や%などの数値目標を明確にしていたことが良かった。その他、複数の入札参加者で重複している BIM やモックアップなど事業者で重複している提案については、評価に差をつけていない。</p>
委員長	<p>次に設計業務についてご意見を求めたい。</p>
委員	<p>受付記号 874132 を高く評価した。市の事業継続性について提案があったロビーのフレキシビリティなど基本設計のコンセプトを実現できる具体的な提案がなされたと評価した。</p>
委員	<p>事業継続性については、全体的にもう少し提案があればよかったが、受付記号 874132</p>

	<p>は具体的な提案が示されていた。</p> <p>LCCについては、評価が難しいが、受付記号 565511 がより縮減効果が大きいとして評価した。</p>
委員	<p>災害時の事業継続性については、各社とももう少し意欲的な提案を期待したが、受付記号 874132 が多様な提案をしており、意欲的で優れていたと評価した。</p> <p>ライフサイクルコストは、具体的な提案がなされていたことから受付記号 565511 と受付記号 874132 を評価した。</p>
委員	<p>事業継続性について、受付記号 874132 と受付記号 565511 は数値を出し、一步踏み込んだ提案をしていたため、評価した。</p> <p>LCCについては、特に優れている提案はあまりなかったが、多くの提案をした受付記号 874132 と受付記号 565511 の意欲を評価した。エネルギーコストについては、受付記号 263943 はデバイス(機器)に頼った提案が多く若干劣る評価とした。受付記号 431224 は今回の入札金額に含まれない別料金となるため、評価対象とならない提案が多かった。</p>
委員	<p>具体的に受付記号 565511 と受付記号 874132 の評価が高かった。事業継続性について、独自の技術やノウハウの提案が多く、魅力的だった。LCC についても、受付記号 565511 と受付記号 874132 は評価できる提案が多かった。エネルギーコストで受付記号 431224 は、ほぼ入札金額とは別となる提案で評価できなかった。</p>
委員長	<p>受付記号 263943 は、設計部門は設計事務所と組んでいると提案書にあり期待したが、提案が評価につながらず残念だった。受付記号 565511 と受付記号 874132 は同様の提案内容としてスパン変更による構造的なメリットや維持管理面でのメリットなど具体性や効果を重視して評価した。</p>
委員長	<p>次に施工業務についてご意見を求めたい。</p>
委員	<p>受付記号 431224 と受付記号 565511 については、一般的な内容については記載があるものの、本事業の状況に具体的に落とし込んでどうするかという点が見えなかったため、低評価とした。</p> <p>施工精度の項目は、各社とも可視化に関する方法論はあったが、それを使ってどんなアウトプットを出せるのかという明示がなかったことは残念であった。受付記号 874132 は精度を高める手段としてプレキャスト化が本当に資するかという点は疑問を持った。</p> <p>安全管理については、受付記号 874132 が建設予定地の敷地形状を具体的に想定した対策を提案していて、評価した。</p>

委員	<p>受付記号 263943 は、施工精度を高める点で、総合図を早めに作ることなど効果的な提案がなされていた。また、安全対策については細かく書かれていて評価した。</p> <p>供用後の機器調整については、受付記号 874132 が 1 年でわかりやすい省エネ運転方法の確立等を提案して評価した。</p>																				
委員	<p>施工精度については、受付記号 263943 が現場をイメージできる提案をしてきたと評価した。安全管理については受付記号 263943 と受付記号 874132 が幅広く効果的な提案をしたと評価した。</p> <p>供用後の機器調整については、全体的にあまり評価できる提案が無かったが、機器の取扱説明は重要なので、受付記号 263943 と受付記号 874132 がビジュアル化されたマニュアル等の作成を提案して、評価した。</p>																				
委員	<p>施工業務については、安全対策に大きな差がついた。特に受付記号 874132 について、数値で示された事故発生要因を削減する提案が、よく現場を分析したものであると評価した。</p> <p>安全対策については、受付記号 431224 が一般的な提案が多く比較的低い評価となった。供用後の機器調整について、各社とも大きな差はつかなかったが、提案内容の実現性の点で受付記号 874132 を評価した。</p>																				
委員	<p>施工精度・安全対策・供用後の機器調整について共通で、受付記号 263943 と受付記号 874132 が具体的な提案があったことを評価した。</p>																				
委員長	<p>施工業務については、受付記号 263943 と受付記号 874132 を高く評価した。</p> <p>営繕管理の指針に書いてある内容に対して、必要とされる対策を本事業に落とし込んで提案したものが受付記号 263943 と受付記号 874132 であった。</p> <p>さらに、供用後の機器調整についても、完成後の比較的良心的なサポート姿勢を具体的に提示していた印象があり、受付記号 263943 と受付記号 874132 を評価した。</p>																				
委員長	<p>以上で開札の結果が出る前に概ね各入札参加者の提案内容に関する意見を共有することができた。</p> <p>(その後、市契約検査課より開札結果を記録した調書が委員会会場に届けられた。)</p>																				
事務局	<p>開札結果として、入札価格(税抜)と法人名を報告した。</p> <table border="0"> <tr> <td>受付記号 263943</td> <td>(株)フジタ</td> <td>入札金額 9,328,000,000 円</td> <td>価格評価点 351.20 点</td> </tr> <tr> <td>受付記号 431224</td> <td>大成建設(株)</td> <td>入札金額 8,990,000,000 円</td> <td>価格評価点 364.40 点</td> </tr> <tr> <td>受付記号 565511</td> <td>(株)大林組</td> <td>入札金額 8,640,000,000 円</td> <td>価格評価点 379.17 点</td> </tr> <tr> <td>受付記号 874132</td> <td>清水建設(株)</td> <td>入札金額 8,190,000,000 円</td> <td>価格評価点 400.00 点</td> </tr> <tr> <td>受付記号 101173</td> <td>鹿島建設(株)</td> <td>辞退</td> <td></td> </tr> </table>	受付記号 263943	(株)フジタ	入札金額 9,328,000,000 円	価格評価点 351.20 点	受付記号 431224	大成建設(株)	入札金額 8,990,000,000 円	価格評価点 364.40 点	受付記号 565511	(株)大林組	入札金額 8,640,000,000 円	価格評価点 379.17 点	受付記号 874132	清水建設(株)	入札金額 8,190,000,000 円	価格評価点 400.00 点	受付記号 101173	鹿島建設(株)	辞退	
受付記号 263943	(株)フジタ	入札金額 9,328,000,000 円	価格評価点 351.20 点																		
受付記号 431224	大成建設(株)	入札金額 8,990,000,000 円	価格評価点 364.40 点																		
受付記号 565511	(株)大林組	入札金額 8,640,000,000 円	価格評価点 379.17 点																		
受付記号 874132	清水建設(株)	入札金額 8,190,000,000 円	価格評価点 400.00 点																		
受付記号 101173	鹿島建設(株)	辞退																			

	<p>入札価格評価点と技術提案及び実績評価点を合算した各社の総合評価点を報告した。 (総合評価落札方式結果調書を配布)</p>
委員長	<p>開札の結果、最も総合評価点が高い事業者は、受付記号 874132 の清水建設株式会社となった。疑義はあるか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>異議なしということで、委員会として、落札者を最も総合評価点が高い事業者であった清水建設株式会社とすることは妥当であると確認した。次に、審査結果を踏まえ、全体の感想をお伺いしたい。</p>
委員	<p>まずは事業者が決まったことを喜びたい。これだけの事業規模の事業について審査を行うということで責任の重さを感じながら評価を行った。 落札者にとっては、習志野市との対話を行い、提案内容の確実な履行とともに、庁舎のコンセプトが実現されるように期待したい。</p>
委員	<p>評価の仕方として、要求水準書の内容を十分に把握して、その上で提案を評価する難しさや、提案内容をどのように噛み砕いて評価することが大変だった。 4社の参加者がいたが、評価結果に差が出たという印象がある。</p>
委員	<p>実施設計からのデザインビルドということで、基本設計との線引きを自身の中で決めるところが難しかったが、結果として技術提案評価でも一番良かったところが総合評価点でも最高点となったので良かったのではないかと。 落札者は、独自工法により実施する提案を多くしているが、性能として担保されることや、庁舎完成後のメンテナンスのしやすさも実現するように、市と継続的に協議をしたらうで設計・施工を実施していただくようお願いしたい。</p>
委員	<p>昨今の建設費高騰の中、入札不調が続く中で、結果 4社の参加があったことは競争環境が生まれる素地になったと考えられ、これだけの参加があったことに非常に恵まれたと感じている。技術提案の内容も、企業の技術力が表れていると感じた。結果的には、技術点が最も高いものが選定されたということで、良い結果が出た。</p>
委員	<p>良い提案をした参加者が選定されるという望ましい結果にはなったと考える。落札者は、積極的に頑張ってくれたと思う。意気込みがかなり違ったのではないかと。</p>
委員長	<p>まずは各委員にとっては、委員会の運営に協力いただいたことを感謝したい。審査が</p>

	<p>非常に公平に進められたことと、一般競争入札総合評価落札方式で行なった甲斐があった結果となったと感じている。今後は発注者の適切な管理のもと、素晴らしい庁舎が出来上がるように期待している。</p> <p>また、審査講評については先ほど事務局からもあったように、委員長一任としていただくことでご了解いただきたいがよろしいか。</p>
各委員	承知した。
委員長	<p>以上で、議事は終了である。これにて習志野市新庁舎建設工事技術審査委員会を閉会する。</p> <p>(その後、委員会より市長に対して、落札者決定に関する意見書が提出された。)</p> <p>閉会</p>

(以上)